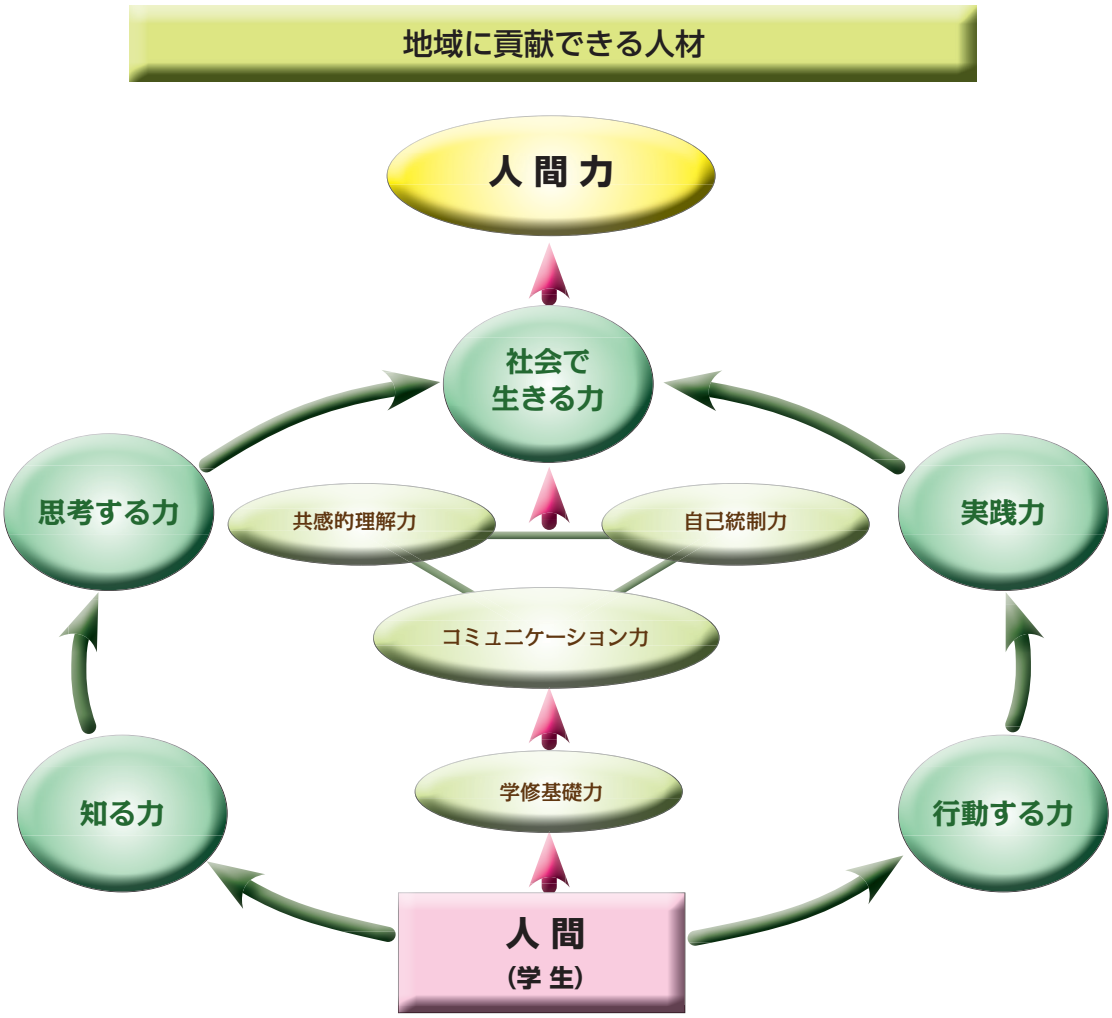
久留米大学の基本理念に基づく共通教育の基本方針

── 理　　念 ──

「人間性豊かな実践的人材の育成」を目指す久留米大学基本理念に基づき、「地域に貢献できる人材」を社会に送り出すためには学士課程教育における共通教育が重要であると認識し、各学部で展開されている専門教育とその基礎となる共通教育を連携させながら**「人間力」**育成に向けて推進していく共通教育の基本方針を示します。

「人間力」とは「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」です。久留米大学の学士課程において修得すべき「人間力」を「知る力」「行動する力」「思考する力」「実践力」「社会で生きる力」という５つの構成要素で捉えています。それらの力と相互関連しながら、共通教育科目を学修する課程において「学修基礎力」「コミュニケーション力」「共感的理解力」「自己統制力」を身につけることを目指します。

これらの 10 の力の関係性を図で示し、学修成果を得るための流れを以下に示します。

学生の基本的生活の持続には、人間としての心身の健康が基盤となります。先ず、社会や自身の課題に気づき、「知る力」をもって主体的に学びます。そして身体力を高め「行動する力」の基礎とします。大学で学ぶことの出発点に「学修基礎力」を備える必要があります。社会の現実を正しく理解するためには、「知る力」より得た知識をもとに自分で「思考する力」を深めねばなりません。また、社会の問題を解決するためには「行動する力」を「実践力」に高めねばなりません。その過程で、グローバルな情報化社会で他者との「コミュニケーション力」、「共感的理解力」や「自己統制力」を身につけることが、豊かな人間性をもって「社会で生きる力」に発展します。

それは**「人間力」**の向上および久留米大学基本理念に基づく「地域に貢献できる人材」を社会に送り出すことにつながります。